

2020（令和2）年12月23日

「ベトナム語指示詞 *đấy* の談話機能」

発表者：安達真弓（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教）

ベトナム語は3系列の指示詞を持ち、各系列の単独形や修飾形にはそれぞれ同形の感動詞や文末詞が存在する。そのうち、中称の指示詞 *đấy* は、先行詞を前方照応的に指し示す場合に用いられることが多い一方、文頭における感動詞としての *đấy* は、先行する文脈における自身の発話や想定について話し手が言及する場面で使用されることがある。辞書に掲載されている典型例としては、話し手が先に行ったアドバイスに基づいて、それに反するような聞き手の行動や態度を批判する場面（「ほらみたことか」）が挙げられる（Lạc Việt 2020）。また、Bui (2014) は、戯曲の用例に基づいて、話し手が忘れかけていたことを聞き手の言及により思い出した際に、*đấy*（‘I now remember’）が使われることを指摘している。

但し、自然談話の用例を観察すれば、先行する文脈において話し手の想定が明示されていないのに、話し手が感動詞 *đấy* を用いて「自分はその情報を前もって知っていた」と示唆している例（「そうそう」「でしょ？」）が見つかる。本発表では、A. 直前の聞き手の発言に対して話し手が同意を表明する場合、B. 話し手がある単語を自分で思い出した場合、C. 話し手が思い出そうとしている単語を聞き手が代わりに言い当てた場合の3つの具体例を考察し、感動詞 *đấy* が先行する文脈と関連付けながら、談話を前方に進行させる機能を持っていることを示した。

参考文献

- Bui, Linh Thuy (2014) Vietnamese demonstratives: A spatially-based polysemy network. Doctoral dissertation, The University of Queensland.
- Lạc Việt (2020) *Từ điển Việt-Việt* (越越辞典) . <http://tratu.coviet.vn/hoc-tieng-anh/tu-dien/lac-viet/V-V/đấy.html> [2020年12月アクセス] .